

お客様各位

C形真空遮断器の既納品改善について

資料No. CV2-1
平成14年11月1日
株式会社日立製作所
電機システム事業部
受変制御設計部
受変制御品質保証課

謹啓 貴社益々御隆盛の段、慶賀に存じます。

平素は格別の御愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、題記電動ばね操作形のC形真空遮断器を使用戴いている間に、定期点検、注油が適切に行われず結果として油の固化現象に起因する不具合が発生している事から、定期点検、注油の実施をお願いして参りました。

しかしながら 定期点検、注油実施等が徹底されない現状を考慮し、御使用中の不具合発生でお客様に御迷惑をお掛けしないようにする観点から、裕度を確保する改善策を準備させて頂きましたので連絡させて頂きました。

1. 不具合現象

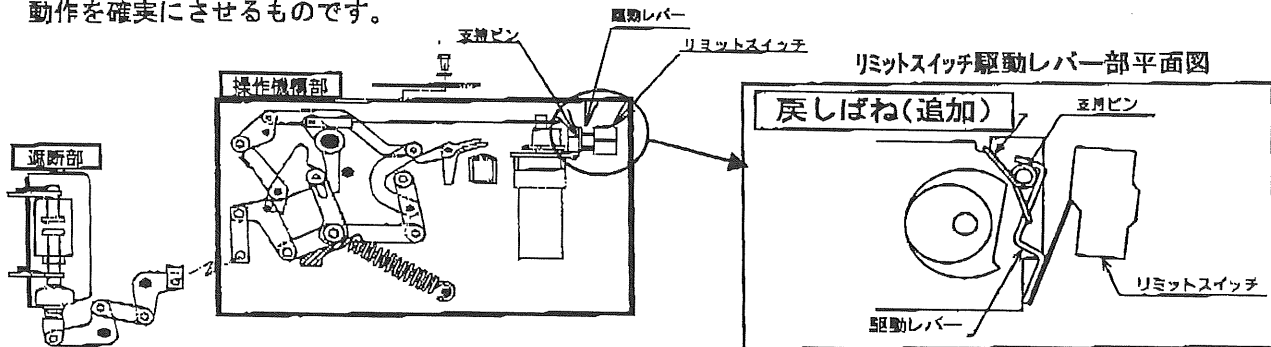
不具合現象としましては、駆動レバーの支持ピンに塗布された潤滑油グリースの経年劣化に伴う固化・固着により、ばね蓄勢用モータの電源を開放するリミットスイッチが、復帰できないものです。

結果としてモータが連続回転となったり、損傷して、投入ばねの蓄勢が完了しないため(手動ハンドルにてもばね蓄勢できない)に、投入動作ができないことがあります。

本現象は、遮断器の遮断動作完了直後に発生し、閉路状態(「入」状態)や開路状態(「切」状態)で発生することはありません。尚、本現象が発生しても短絡電流遮断を含め、電流遮断は正常に行うことができます。

2. 改善内容

本不具合は定期注油を実施戴くことで予防できるものと判断しておりますが、油固化による抗力に対してリミットスイッチ駆動レバー戻し裕度確保のため「戻しばね」の追加を行ない、リミットスイッチの復帰動作を確実にさせるものです。



3. 対象VCB

据付方式	形 式		形 式(低サージ形)	
引出形	C-6D-8HB FA	C-6F-12HB FA	C-6D-8HBS FA	C-6F-12HBS FA
固定形	C-6D-8TB FA	C-6F-12TB FA	C-6D-8TBS FA	C-6F-12TBS FA
	C-6D-8UB FA	C-6F-12UB FA	C-6D-8UBS FA	C-6F-12UBS FA
	C-6D-8SB FA	C-6F-12SB FA	C-6D-8SBS FA	C-6F-12SBS FA

- ・ 製作期間：1993～99年製作品
- ・ C-6D-8□BS FA
- ・ C-6F-12□BS FA
- 形 式
- ・ 形末尾のSは低サージ形を示す。機構部は同一です。
- ・ 式：FAは電動ばね操作形を示す。

4. お願い事項

遮断器は設置、使用される環境(塵埃、湿気、遮断投入回数等)より様々な不具合に至る恐れがありますので、定期的保守、メンテナンスが必要です。

3年以上定期点検されていない場合は、定期点検の計画とご用命をお願いします。

定期点検に必要な時間は、遮断器の設置タイプにより異なりますが、作業時間の目安としましては、固定形の場合 3時間、引出形の場合 1.5時間の停止が必要となります。

定期点検の中で「戻しばね追加」の対応も行なわせて戴きます。

5. 対応

御依頼を戴きますと詳細を伺い工程表を作成し送付させて頂きますので宜しく御願い申し上げます。